

S C A T 研究奨励金応募要領

一般財団法人テレコム先端技術研究支援センター

1. 研究奨励の趣旨

わが国は、低炭素社会の実現、少子高齢化対策、感染症対策など社会体制の大きな変革が求められています。こうした困難な課題を解決するために情報通信技術が果たすべき役割はますます高まっており、先端的な情報通信技術の研究開発の重要性が増大しています。そのため、情報通信技術分野における、わが国の次世代を支える若い研究者の育成が極めて重要です。当センターでは、このような認識のもとに、優れた研究能力を有する大学院博士後期課程の学生に対して、その研究を支援するため、研究奨励金を支給します。

2. 研究奨励の対象とする研究者

先端的な情報通信技術分野の研究を専攻する、日本国内の大学院博士後期課程に進学する学生を対象とします。

※ 複数名応募があった場合は、学内選考を実施いたします。予めご了承ください。
また、学内選考の実施に伴い、追加でご提出いただく書類があります。
本資料の最終ページを必ずご確認ください。

3. 応募資格

以下のすべての条件に該当し、研究科長等が推薦する学生とします。なお推薦は、1 研究科につき 2 名までとさせていただきます。

- (1) 令和 9 年 4 月に以下のいずれかの大学院博士課程に進学予定の者又は令和 8 年 10 月期に以下のいずれかの大学院博士課程に進学した者
 - (a) 区分制の博士後期課程第 1 年次
 - (b) 一貫制の博士課程第 3 年次
 - (c) 後期 3 年の課程のみの博士課程第 1 年次
- (2) 研究能力に優れ、かつ、健康である者
- (3) 他の奨学金を受けていない者又は受ける予定のない者（独立行政法人日本学生支援機構の奨学金を除く。）
- (4) 定職に就いていない者

※応募後、上記(1)～(4)の資格を満たさなくなった場合は速やかに申し出てください。

(特に、当 S C A T 研究奨励金への応募後、他の奨学金の受給が決まった時にご注意ください。例えば、日本学術振興会の特別研究員-DC1 など。)

4. 研究奨励金支給額及び採用予定数

1 人当たり月額 10 万円とし(研究奨励金返還の義務はありません)、5 件程度の採用を予定しています。

5. 研究奨励金支給期間

大学院博士課程在学の3年間を越えない期間とします。ただし、令和8年10月期に大学院博士課程に進学した者は、令和8年10月から令和9年3月までの期間は支給されません。

6. 研究奨励金支給開始時期及び支給方法

支給開始時期は令和9年5月とします。4月分と5月分を5月に、以降同様に2ヶ月分ずつ奇数月に研究奨励金対象者本人名義の銀行口座に振込みます。

7. 研究奨励金対象者の義務

- (1) 研究奨励金対象者への採用通知を受けた応募者には、研究奨励金の受給に先立って、誓約書を提出していただきます。
- (2) 研究奨励金対象者は、研究奨励金の趣旨に基づき研究に専念しなければなりません。
- (3) 毎年12月に研究状況報告書を提出していただきます。なお、この内容は当センターの年次報告書に掲載し公開させていただきます。
- (4) 支給期間終了後、速やかに研究最終報告書を提出していただきます。
- (5) 研究奨励金対象者は、以下に該当する場合には速やかに届け出ていただきます。
 - ① 前3. 項の応募資格の(2)～(4)を満たさなくなったとき
 - ② 傷病などのため長期(6ヶ月以上)に亘って研究ができなくなったとき
 - ③ 休学、転学又は退学するとき
 - ④ 給付を辞退するとき
 - ⑤ 海外留学をするとき(この期間は奨励金の支給が停止されます。)
- (6) 研究奨励金返還の義務はありません。

8. 応募方法

- (1) 応募書類の入手方法

以下の財団ホームページよりダウンロードしてください。
ダウンロードできない方は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。

【財団ホームページ】 https://www.scat.or.jp/josei/boshu_info/ 【お問い合わせ先】 山口大学学生支援課経済支援係 電話：083-933-5165 メール：ga113@yamaguchi-u.ac.jp

(2) 応募に必要な書類と提出方法

下記書類をメールに添付のうえ、(4)に記載の経済支援係宛てに提出してください。
なお、応募書類のファイルはPDF化せず、元のデータ形式のままご提出ください。

① SCAT研究奨励金申込書

② 添付資料

- ・ 研究計画
- ・ 現在までの研究概要
- ・ 研究業績一覧
- ・ 研究業績のうち主要なもの（論文等）
- ・ 作文（研究者としての将来について考えること）
- ・ その他（例：他の奨励金を受けるのが困難な理由など）

③ 研究科長の推薦書（所定用紙）

④ 学業成績証明書（学部、修士課程） 各1部

※ ①の「SCAT研究奨励金申込書」について、「推薦者」欄は空欄のままで構いません。

※ ③の「研究科長の推薦書」については、指導教員の先生へ記入をご依頼ください。
なお、「日付・所属機関・所在地・役職・氏名・押印欄」は空欄のままで構いません。

(3) 応募期間

大学奨学金窓口締切：令和8年11月9日（月）

~~令和8年8月8日（月）～令和8年11月30日（月）（最終日の消印有効）~~

(4) 応募書類の提出先

提出先メールアドレス：ga113@yamaguchi-u.ac.jp
（山口大学学生支援課経済支援係）

9. 審査

審査は提出された応募書類により行い、研究奨励金対象者は当センターが設置した研究助成審査委員会で決定します。

10. 結果の通知

研究奨励金対象者への採否の結果は、令和9年3月から5月上旬頃までに順次、推薦者（研究科長等）及び応募者にお知らせします。

11. 研究奨励金の支給終了

研究奨励金対象者が以下に該当する場合には、研究奨励金の支給を終了することとします。

- (1) 前記3. 応募資格の(2)～(4)を満たさなくなったとき
- (2) 傷病などのために長期（6ヶ月以上）に亘って研究ができなくなったとき
- (3) 休学又は退学したとき
- (4) 給付を辞退したとき

12. その他

- (1) 提出された書類は返却いたしません。
- (2) 応募内容についての秘密は厳守します。
- (3) 応募書類は個人情報保護に留意し、研究奨励事業を遂行する範囲でのみ使用します。
- (4) 審査の経過及び内容に関するお問い合わせには応じられません。
- (5) 支給対象者名を当センターのホームページに掲載させていただきます。掲載項目は対象者名・所属、研究テーマ及び支給期間です。
- (6) 当センターでは、助成事業の成果把握及び事業評価のため、研究助成を受けられた方の研究成果や研究活動に関する情報を収集する場合があります。この際、研究者情報データベース等に掲載された情報の利用に当たり、個別のアクセス許諾が必要となる場合には、当センターから許諾申請を行うことがありますので、予めご了承ください。
- (7) その他、お問い合わせは、前記8.(1)項の応募書類の請求窓口にお願いします。

以上

S C A T 研究奨励金申込書 及び添付資料記入要領

(1) S C A T 研究奨励金申込書 日本語で記入してください。

1. 「応募者」：応募者の氏名を記入し、フリガナを付してください。漢字を使う習慣のない国の方は、カタカナ表記または英語表記してください。連絡先は、自宅の住所、電話番号、E-mail を記入してください。当センターからの事務連絡先になります。
2. 「現在の所属」：学生は、大学名、研究科名、専攻を、組織に所属している場合は組織名、部署、役職を記入してください。
3. 「学歴」：卒業大学名、学科、入学大学院名、研究科、専攻、及び年月記入してください。また、博士課程入学見込みである大学院名、研究科、専攻、及び年月を記入してください。
4. 「博士課程の種別」：以下の種別から1つを選択し、いずれかに x 点をつけてください。
 - (1) 区分制の博士後期課程第1年次
 - (2) 一貫制の博士課程第3年次
 - (3) 後期3年の課程のみの博士課程第1年次
5. 「研究経歴」：これまでの研究経歴について、期間と研究テーマを記入してください。また、研究の職についていた場合には職名を記入してください。
6. 「研究テーマ」：対象の研究テーマを記入してください。研究内容を具体的に簡潔に表現してください（全角40字以内）。技術分野は、以下の技術分野から1つを選択し、その区分を記入してください。

区分	技術分野
1	光通信・情報ネットワーク技術とその応用 (光通信システム、デジタル信号処理、フォトニックネットワーク、データセンタネットワーク、デジタルツインネットワーク、AI ネイティブネットワークなど)
2A	コンピューティング技術 (計算機システム、ソフトウェア、情報ネットワーク、データベース、情報セキュリティ、クラウド、IoT、量子コンピューティングなど)
2B	人工知能・ヒューマンインタフェース技術 (人工知能、自然言語処理、音声・音響処理、画像・映像処理、ヒューマンコンピュータインタラクション、ロボティクスなど)
3	無線・宇宙通信・センシング・電波利用技術 (無線通信方式、無線アクセス、アンテナ・電波伝搬、放送技術、無線航法、無線電力伝送、電磁環境、電波利用技術など)
4	先端デバイス・材料 (光・電子デバイス、分子デバイス、先端機能材料、ナノ・量子デバイス、集積回路・回路設計など)

(括弧内は例示です)

7. 「現在の研究指導者」：学生ならば現在修士課程で行っている研究の指導者を、組織に所属して研究している研究者の場合はその研究の指導者を記入してください。

~~8. 「推薦者」：研究科長等の推薦者を記入してください。 ※「推薦者」欄は空欄のままで構いません。~~

(2) 添付資料 日本語で記入してください。

1. 「研究計画」

(1) 研究課題について、研究の目的と意義、その特色、独創性及び波及効果などについて述べ、それをどのような研究方法で行うのかを、具体的に 2,000 字以内で記入してください。

(2) 共同研究の場合には、応募者が担当する部分を明らかにしてください。

2. 「現在までの研究概要」

研究課題についての、現在までの研究内容を 2,000 字以内で記入してください。

3. 「研究業績一覧」

(1) 学術雑誌等に発表した論文（掲載を決定したものを含む）

① 題名、掲載誌名、年月、著者を記入し、共著の場合には主著者にアンダーラインを付してください。

② 掲載を決定したものについては、受理証明書の写を添付してください。

(2) 学会発表論文

題名、学会名、場所、年月、発表者名を記入し、共同研究の場合には共同研究者名も記入してください。

(3) その他研究業績となる事項

4. 「研究業績のうち主要なもの」

「研究業績一覧」(1)から(3)の中から、主要なものについて3件程度、写し（A4サイズに統一したもの）を添付してください。

5. 「作文」

テーマは、『研究者としての将来について考えること』です。

2,000 字～4,000 字で述べてください。

6. 「その他」

他に説明したいことがありましたら記述してください（例えば、他の奨励金を受けるのが困難な理由など）。

以上

■ 学内選考用の申請書類について

本奨学金にご応募される際は、財団指定の書類に加え、下記に記載の①～③（③は該当者のみ）の書類をご提出ください。下記書類は、応募者が複数名となった場合に実施する「学内選考」に使用いたします。また、財団指定の応募書類を提出していても、下記書類が未提出の場合は応募不可となりますので、ご注意ください。

	学内選考用応募書類	注意事項
①	同一生計家族全員分の令和8年度(令和7年分)所得課税証明書(写し)	収入金額および所得控除の金額が記載されているもの。 <u>(税額のみ記載されているものは不可。)</u> 無収入の者で所得課税証明書が発行できない場合は、住民税非課税証明書を提出。
②	学内選考用奨学金申請書	様式有り。記入の際は手書きではなく、Excel 上に入力すること。
③	特別控除に関する提出書類	該当者のみ・様式有り。詳細は②の申請書を参照のこと。

②及び③の各様式は、下記民間奨学金ホームページ内の該当奨学金募集欄に添付しております。ご不明な場合は、経済支援係までメール（宛先：ga113@yamaguchi-u.ac.jp）にてお問い合わせください。

[民間奨学金ホームページ]

<https://ds0n.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~st-support/st-support-center/tebiki/te-tsuzuki/scholarship/private-local/index.html>